

平成 25 年度 クラウドビジネス推進研究会 事業計画（案）

1. 活動概要

クラウドコンピューティングは、融合新産業の創出やクラウドを活用したコンシューマ向けのビジネスの進展、更には企業向けのクラウド活用によるビジネスモデル改革の可能性等、新たな IT の利活用に欠かせない情報インフラ基盤として期待され、着実に整備が進んでいる。こうした状況を踏まえて、クラウドの進展がサーバ、ネットワークストレージ、情報端末等の IT 製品市場やソフト、ソリューションサービス市場へ与える影響について検討するとともに関連する課題やキーワードに関する講演会を開催するほか、クラウドがもたらす将来やクラウドを活用するユーザ団体(JUAS 等)とのワークショップを実施して認識の共有に努める。特にクラウドから収集される膨大な個人情報の保護への配慮は、クラウドコンピューティングをビジネスで活用する際の極めて重要な課題であることから、その対応について調査研究する。なお、本事業は当部会傘下のクラウド関係事業と連動して進めることとし、情報共有や意見交換を通じて、活動の相乗効果を図る。

2. 活動について

- ① クラウドコンピューティングがサーバ、ストレージ、情報端末機器等の IT 製品、ソフト、ソリューションサービス市場へ与える影響について検討するとともに関連する課題やキーワードに関する講演会を定期的で開催する。
- ② クラウドを活用するユーザ団体(JUAS 等)やクラウド時代を担う人々が IT 利活用の将来像を考えるワークショップをシリーズで開催し、認識の共有に努める。
- ③ クラウド関連調査の連携や情報共有を進めるに当たっては関係事業委員会等からの研究会に対する要望を踏まえた活動を行う。研究会に提示・要望された問題や共通課題についての検討結果は報告書等に纏めてフィードバックする。
- ④ 研究会のホームページはクラウド関連情報を集めたポータルサイトとしてその機能を充実させるとともに、研究会主催の講演会やワークショップの開催概要をまとめて掲載する等、活動の見える化に努める。
- ⑤ ジャパンクラウドコンソーシアム(JCC)や日米 Cloud Computing Industry Forum(CCIF)活動への協力等、JEITA のクラウド関連調査を統括する組織として機能する。

以上